

令和3年度【家庭・家庭総合】シラバス

科目名	対象学科・学年	単位数	履修
家庭総合	普通コース・2学年	2単位	必修

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	家族や生活の営みを人の一生とかかわりの中で捉え、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とする。
使用教科書	開隆堂「家庭総合 明日の生活を築く」

2. 学習計画および評価方法等

学期	月	学習内容	学習項目 学習のねらい	評価の基準	評価方法
一 学 期	4	家庭科の学び方 HP、学校家庭クラブについて	○家庭科で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知り、HPや家庭クラブの意味と進め方について理解する。	・HPを常に意識させ後日実施	
	5	第1部 人とかかわって 生きる 第1章 自分を見つめる	1. 人の一生と発達課題 ○生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について考えようとしている。 ○長い人生の「今」という文脈で、青年期にある自分を見つめ直すことを通じて、これからの人生をどう生きていくかを改めて考える。 2. 青年期を生きる ○自己理解、心身の自立や生活者としての自立などを理解し、青年期の生き方について考える。 ○「青年期」がどのような時期かを知るとともに、これからの生き方や方向性について考える。	○人の一生についてライフステージを通して捉え、特徴と課題を考えようとしている。 【関】 ○自らの課題を見出し、これから道生きていくかについて考えられる。 【思】 ○生活者としての自立などを理解し、青年期の生き方について考えられる。 【思】 ○「青年期」がどのような時期かを理解し、これからの生き方について考える。 【知】	授業態度 ワークシート プリント学習 定期考査
	6	第1部 第2章 家族・家庭と 社会	1. 現代の家族と家庭の機能 ○家族が家族個人の発達に果たしている機能と社会に対して果たしている機能について、それぞれの歴史的变化や文化、社会による特徴を理解する。 2. 現代の家族の特徴 ○日本の親子関係、夫婦関係の現状についての資料を収集や調査を行い、現代家族の特徴について考える。 3. 家族の法律 ○婚姻、夫婦、親子などに関する法律の基礎的知識を理解する。 4. これからの家族・家庭と社会 ○家庭生活を支える社会制度や社会福祉の基本的知識を理解する。 ○これからの家族の多様性が尊重されることや家族一人ひとりの基本的人権が守られることが大切であることを理解し、困難がある場合の対応策などを考える。	○家族の発達に果たしている機能について、歴史的变化、文化や社会による特徴を理解している。【知】 ○日本の親子関係、夫婦関係の現状についての資料等の収集をし、整理ができています。 【技】 ○家族に関する法律の基礎的知識を理解できる。 【知】 ○家庭生活を支える社会制度や社会福祉を理解している。 【知】 ○家族の人権が守られない場合の対応策などを考えられる。 【思】	授業態度 ワークシート プリント学習 定期考査
	7	第1部 第3章 子どもの発達と 保育・福祉	1. 子どもの発達と生活 ○子どもの発育・発達には、個人差があるが一定の順序と共通性があることを理解し、周囲のおとなの役割、養育態度の関係について考える。	○子どもの発達の個人差や順序を理解し、周囲のおとなの役割や養育態度の関係について考えられる。 【思】【知】	授業態度 ワークシート プリント学習 ノート提出 定期考査

二学期	9 10		<p>2. 子どもとかかわる ○子どもと実際にかかわり、子どもは生活の中で人とかかわりを通して育つことを理解する。</p> <p>3. 親の役割と子育て支援 ○子どもを育てることの社会的意義や両性がかかわることの意義について考える。 ○愛着形成や将来の人間関係の基盤について考え、保育の責任は親と社会の支援であることを理解する。</p> <p>4. 子どもの権利と福祉 ○近年の子どもを取りまく環境の変化について考える。 ○全ての子どもが健やかに育つための福祉について理解する。</p>	<p>○子どもと実際に関わり、子どもの発達の実際の姿を観察している。【技】</p> <p>○子どもを育てることの社会的意義について考えようとしている。【関】</p> <p>○子どもの人間関係の基盤について考え、親と社会の支援の重要性について理解している。【思】【知】</p> <p>○子どもを取りまく環境の変化について考えられる。【思】</p> <p>○子どもの福祉について理解している。【知】</p>	授業態度 提出課題 ワークシート プリント学習 定期考査
	11	第2部 第4章 消費者市民として生きる	<p>1. 生涯の経済計画とリスク管理 ○生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済のかかわりなどについて自ら考えようとしている。</p> <p>2. 消費行動と意思決定 ○適切な意思決定や消費行動によって意見を表明し、行動することが消費者の責任であることについて考える。</p> <p>3. 持続可能な消費 ○環境問題に配慮した自己のライフスタイルを主体的に考える。 ○環境問題が生じる原因について理解し、持続可能な社会を目指すことの重要性を認識する。</p>	<p>○家計管理の重要性や家計と経済のかかわりなどについて自ら考えようとしている。【関】</p> <p>○自らの意思を表明し、行動することや消費者の責任について考える。【思】</p> <p>○ライフスタイルの確立に必要な技術を身につけている。【技】</p> <p>○経済発展などにより生じる環境問題を理解する。【知】</p>	授業態度 ワークシート プリント学習 定期考査
	12	第1部 第5章 共生社会における地域や家族	<p>1. リスクに備える ○さまざまなリスクに遭遇する可能性があることに気づき、社会福祉の種類と活用を理解する。 ○人と人とのネットワークや社会制度について家族や地域の一員として主体的に考える。</p> <p>2. 共生社会に向けて ○ノーマライゼーションの理念を土台とした社会をつくることが重要であることを理解する。</p>	<p>○社会福祉の種類と活用を理解している。【知】</p> <p>○家族や地域の一員として社会制度などについて考えられる。【関】【思】</p> <p>○共生とノーマライゼーションが社会づくり重要性を理解している。【知】</p>	授業態度 ワークシート プリント学習 定期考査
二学期	1 2 3	第2部 生活を営む 第2章 着る	<p>1. 人間と被服 ○着装に関心を持ち、自分の個性をみつめて自分らしい着装について考える。 ○TPOに適した被服材料や被服の構成及び被服の機能をいかした適切な着装を考える。</p> <p>2. 被服の選択 ○組成表示や取扱い表示を確認し、着心地や管理を考えた被服の選択ができる力を身につける。</p> <p>3. 被服の着用 ○被服材料の性能改善と着心地などについて考える。 ○どのようにすれば健康で快適な衣生活を送ることができるのか考える。</p> <p>4. 被服の管理 ○洗濯や手入れなど、自ら衣服を管理する知識と技術を身につける。</p> <p>5. 被服をつくる ○和服と洋服の構成上の特徴や被服材料、着用の特徴を理解し、衣服製作の基本を知り、日常生活に必要な基本的な縫い方の技術を習得する。</p> <p>6. これからの衣生活 ○資源の有効利用の観点から循環型の被服計画の必要性について理解する。</p>	<p>○着装に関心を持ち、自分の個性をみつめて自分らしい着装について考えている。【関】</p> <p>○TPOや被服材料、被服の構成及び被服の機能をいかした適切な着装を考えている。【思】</p> <p>○組成表示や取扱い表示を確認し、着心地や管理を考えた被服の選択ができている。【技】</p> <p>○被服材料の性能改善と着心地について考えられる。【思】</p> <p>○健康で快適な衣生活を送ることができるのか考えられる。【思】</p> <p>○洗濯や手入れなど、自ら衣服を管理できる。【技】【知】</p> <p>○和服と洋服の特徴を理解し、被服実習を通して、製作ができる。【関】【思】【技】【知】</p> <p>○循環型の被服計画の必要性について理解している。【知】</p>	授業態度 ワークシート 製作物提出 プリント学習 定期考査